

旧奥州道中

大田原宿 下町

白河道

大田原宿：下町



百村川



48号線を行く



湯
野
宮
社

史
跡
蒲
盧
碑

文 庫
蒲 盧 碑
この石碑は、昭和十一年（一九三六年）に、湯野宮社の境内に建立されたものである。石碑の正面には、湯野宮社の歴史が刻銘されている。石碑の裏面には、石碑の建立に尽力した方々の名前が刻銘されている。石碑の建立は、湯野宮社の歴史を後世に伝えるための重要なものである。石碑の建立は、湯野宮社の歴史を後世に伝えるための重要なものである。石碑の建立は、湯野宮社の歴史を後世に伝えるための重要なものである。

大塚園芸事務所
文庫部

蒲盧碑

史跡

昭和 36年 3月 22日 指定

ほ　ろの　ひ
蒲　　盧　　碑

管理者 北区区長

文化9年(1812)10月 那須野に一隊の兵士が刀を荷い槍をうち立て行進する蚤気楼が現れた。たまたまここを通った甲州の高津義克という行脚僧が目撃し、その光景を記した。それが蒲盧碑原文である。のちに石に刻んで建立したのがこの碑である。

土地の者は蚤気楼のことを「ホロ」と呼んでいた。当時親園地区は八木沢村と呼ばれ、代官・山口鉄五郎の支配下であり、代官の出張陣屋が設けられていた。山口鉄五郎は水路を開削し新田を開発するなど農村の振興につとめ領民から深く親しまれていた。人見伝蔵は著者「那須野蚤気楼・蒲盧碑考」の中で、中国の書「中庸」の中には「政治は蒲や盧のようなもの」という一文があり、碑文はこの山口鉄五郎の善政を蚤気楼の蒲盧に結び付けたものとしている。

原文は奉書に隷書体で一行13字、13行に書かれている。この碑文には楷書で本文159文字が刻されている。

旧奥州道中

親園

親園



親園



古くは「親園」の
名木として知られ
たといわれる
大黒松の
樹齢は約
1000年と
推定される
とされている
樹高は約
20mと
推定される
樹齢は約
1000年と
推定される
樹高は約
20mと
推定される

親園



親園

真言宗

薬王寺

薬王寺



(株)JAエルサポート



作久山へ



黒羽 14 km
Karasawa
国道400号 6 km
Route 400

1
那須与一之墓
→

イトヨ生息地 1.1 km
蒲原 町初陣 1.3 km

与一の墓もあるらしい



滝沢



滝澤



馬頭観音

馬頭観音

自
持
王
07



箒川

浄土真宗
本願寺派
正浄寺

川越山無量壽院



注意

正浄寺



佐久山宿

小泉千穂

夕

旧奥州道中 佐久山宿 下町

白河藩

佐久山宿：下町

山前坂

信号



vending machine with "DyDo" logo and "POINT CARD" label

相馬けんいち

名港五ツ星
掛け流し
与一温泉
1.5km

佐久山
前坂交差点

大田原市
佐久山前坂

時差式信号



右折する



温泉 & 岩盤浴
式場 魚 佃 入
佐久山温泉 きみのゆ
あゆみ

天狗温泉

日秋の温泉
温泉 日秋の温泉

天狗温泉

絶対 ケイタイ電話
ひません 飲酒運転

48号線



521-0202 佐久山町 020-8621-5211
農産物直売所 きらり 佐久山

岩倉産
新鮮野菜

P 駐車場入口

農産物直売所



114号線△

A white rectangular sign with a blue border. On the left is a blue circular logo with a white stylized figure. To the right of the logo, the text "さくら市" is written in blue Japanese characters, and "Sakura City" is written in blue English characters below it.

さくら市
Sakura City

A circular speed limit sign with a red border and a white center. The number "40" is written in blue in the center.

40

さくら市に入る



114号線



下河戸



明治天皇御休輦之處

下河戸
明治天皇御休輦之處

源氏ボタルの里
入口





下河戸



下河戸
双体道祖神

那須烏山 喜連川
Nasukarasuyama Kitsuregawa

大田原
Otawara



さくら市
下河戸
Shimo kouto



南和田
25号線へ



南和田



佐久山 喜連川

烏山

老をつけて

喜連川へ入る



喜連川



喜連川



喜連川



大野
フム



内川
うちかわ

金巻橋側道橋

内川



荒川



さくら市街 9km
船岡町 17km

40
No Left Turn
No Right Turn

船岡駅前
商店街駐車場
駐車場

原ベルセルバCC

いすみや
猫のイラスト
お祭り
お祭り

喜連川宿

足利家歴代の墓所
← 龍光寺
Ryukoji Temple



喜連川宿 大正製粉店
龍光寺



慈雲山龍光院



ファミレス
クワニ
686-5106

道の駅
きつれがわ
12km
Kitsuregawa

- ← 烏山城CC
- ← ユーアイGC
- ← 風月CC
- ← 東宇都宮CC
- ← ベルセルバCC

本町
Honmachi

Green traffic light

ASAHI

喜連川宿
本町

明日
5000名
アタリ

スマホ手帳



あら かわ
荒 川
さくら市

連城橋



荒川



お丸山公園
地震で崩落

東野バス通過予定時刻表

連城橋^上

曜日	平日		土曜日		日曜・祭日	
	宇都宮 東武	JR 氏家駅	宇都宮 東武	JR 氏家駅	宇都宮 東武	JR 氏家駅
6	36		36			
7	21 56	08	21 56	08	56	08
8						
9	26	53	26	53	26	53
10						
11	26		26			
12	41		41		41	
13	56		56			
14						
15						
16	06		06		06	
17	46	58	46	58		58
18						
19						

お客様各位
 備 8月13日～8月16日・12月30日・31日は、日曜祭日時刻表・1月1日～1月3日は、正月特別時刻表での運行となります。

バス時刻表



早乙女の田植え
(懐かしい姿)



早乙女の桜並木



早乙女の道標

喜連川温泉 歓迎

露天風呂
福社センター
温泉浴場
0.9 1.9 1.3K

足利家ゆかりの城下町

温泉まんじゅう
季節和菓子
たなかや
200M 桜並木・梅のそば

- 鳥山 CC
- 風 CC
- 那須小 GC
- ユーア GC
- 東宇都 CC
- ベルセル CC
- 大日 CC
- 喜連川 CC

JUN CLASSIC COUNTRY CLUB
小川方面 9km

喜連川 CC
信号左折 8km

喜連川温泉入口

↑ 宇都宮 23km
Utsunomiya
国道4号 7km
Route 4
さくら市街 7km
Central Sakura
氏家 Ujile

氏家宿まで7km



朝寔や
無事を見送る
道祖神

松山
道祖神



ニッカウヰスキー工場



一里塚 1.3K
野 仙 1.1K

智賀津神社 0.2K

各種新車・中古車販売
車検・点検・一般整備
佐藤自動車 ☎82-534

明治時代の水準点

明治23年の大震災のつちをしのいだ大震災の土地に7本の柱が埋め込んである。これは、明治23年(1890)年に西濃しほり村から東京(1877)8月の在館、内閣省地理院(国土院)の地質調査隊(第一隊)の調査員(現在の水準測量)を実施したときに明治時代の水水準点として利用したのである。

当時、静岡付近は一般が水田で、不毛地が大震災には見られなかったために、これを高台として、記録を残したのであると考われる。

この時、東京湾沖合の水深平均値が69と56、その中間とし、静岡、上野を結ぶ、北千石からは静岡方面に水準測量を実施した。大震災は右標の真ん中にあたり、静岡市静島村の三原寺(地蔵堂)大講堂、標高158.000m(521.6658m)という高所の測量記録が明治12年4月発行の地理院誌第14号に掲載されている。



アプロス

SUZUKI
アル
Ke
ワゴン
エリ
エスク
スイフ
MRワ
ラバ
ジムニ
エプ
キャ

奥州道中 一里先よりこれ 宿家氏

堂原村領望
川井
印
三



諸國名所圖〔堂原〕 谷元旦筆 栃木県立博物館蔵



宇都宮 20 km

Utsunomiya

国道4号 4 km

Route 4

さくら市街 4 km

Central Sakura

氏家 Ujiie

奥州街道一里塚(史跡)

近世になると江戸を中心にして諸街道が整備され、宿場や一里塚などが設けられた。一里塚は主要街道の一里ごとに目印として両側に塚を築き、榎や松などを植えた。奥州街道は日光街道と宇都宮で分岐して白河までを指し、これらの街道にも一里塚が設けられた。氏家地内には堂原地藏堂南側と狭間田の二か所あったが、堂原一里塚は明治以降消滅した。狭間田の一里塚も北側は破壊され、南側に一基が現存するだけになった。

延宝六年(一六七八)の宿並絵図によると、この地点は、奥州街道の北側は下松山村、南側は狭間田新田村で、一里塚は両村の宿並中央部に一基ずつ明記されている。江戸日本橋を起点として三十二里目にあたると一里塚である。

奥州街道の一里塚は現存例が少なく、氏家地内唯一の一里塚として確認できるものである。

氏家町教育委員会

一里塚
(民家の中?)

史跡
町初碑

(記念物)

史跡
町初碑

昭和43年2月15日指定
大田原市報第512
国井 謹一

碑は 高さ55センチメートル、周囲93センチメートルの自然石で
表面に「此町初寛永四御年」
裏面に「国井与左衛門」と刻されている。

この碑は三代徳川将軍家光の寛永年間(1624-1644)に奥州街道筋に八木沢部落が開かれ、それを記念しての建立であろう。国井与左衛門はこの地の名主役をつとめ、代々与左衛門を名乗った。寛永四年(1627)は「ひのと仰」であることから本碑は後年の建立と思われる。この寛永4年を奥州道中の開通の年とみる向きもあるが、そうではなく、これはあくまで町初めの年である、いずれにしても町初めの年を石に刻し、その起源を明らかにしている点、歴史的価値は高いものである。

大田原市教育委員会

文化財を大切にしましょう





喜連川町
ほほえみ仏 27

下河戸
ほほえみ仏

道標

「右江戸道 左下妻道」この
みちしるべは、町の南端ここ葛
城に残っており、近世五大街道
の一つで、江戸と奥羽をつなぐ
主要道だった奥州街道の名残り
を偲ばせています。



葛城：
道標